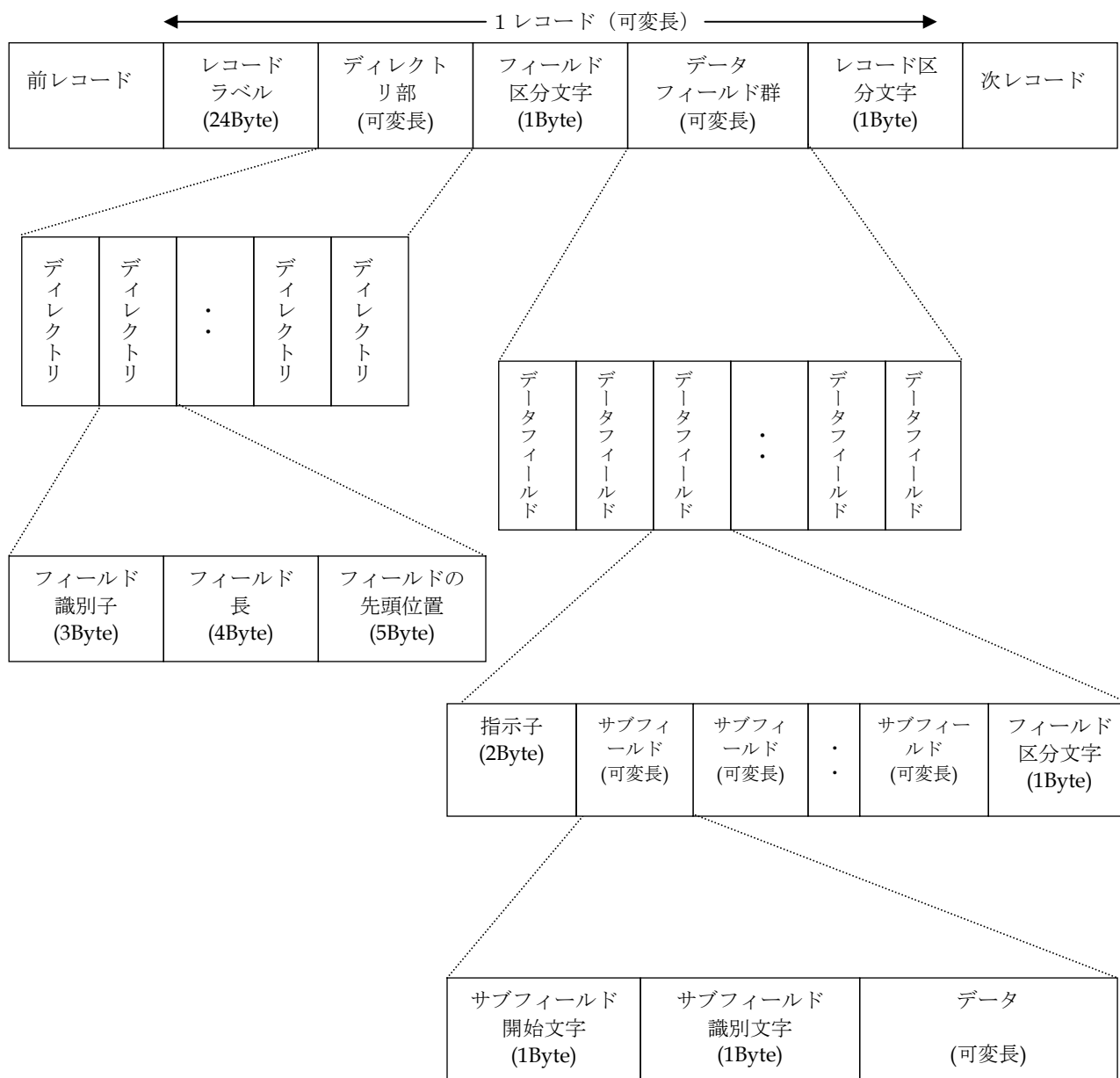


JAPAN/MARC(A)フォーマット

本典拠ファイルのフォーマットは、UNIMARC 典拠フォーマット（1991）（以下「UNIMARC フォーマット」）に準拠している。まずレコード形式の考え方をまとめる。



*フィールド識別子001及び005には指示子、サブフィールド開始文字及びサブフィールド識別文字は存在しない。

No.	構成要素			特記事項等
	名称	形式	Byte数	
レコードラベル				以下の No.1~8 の固定長。(24Byte)
1	レコード長	数字	5	レコードラベルの先頭より典拠レコードの長さ(バイト数)を5桁の10進数で表示(右詰)。5桁に満たない場合「0」でパディング。“00577” レコードラベルの長さ(24Byte) + ディレクトリ部の長さ + フィールド区分文字の長さ(1Byte) + データフィールド群の長さ + レコード区分文字の長さ(1Byte)
2	レコード状態	英字	1	レコードの状態。 “n”: 新規レコード “c”: 訂正レコード “d”: 削除レコード
3	典拠・参照レコード識別コード	英字	1	レコードの種別。 “x”: 典拠記入レコード “y”: 参照記入レコード “z”: 一般的説明参照記入レコード
	未定義	英字	3	半角スペース3つ(3Byte)固定。
4	インディケータ長	数字	1	“2”固定。
5	サブフィールド識別子長	数字	1	“2”固定。 サブフィールド識別子は、サブフィールド開始文字とサブフィールド識別文字から構成される。
6	データ起点位置	数字	5	データフィールド群の先頭位置(データのベースアドレス)を5桁の10進数で表示(右詰)。5桁に満たない場合「0」でパディング。“00169”
7	付加的レコード定義			
	入力レベル	英字	1	機械可読レコードの完成度を示す入力レベルを表す。「完全」を示す半角スペース1つ(1Byte)固定。
	未定義	英字	2	半角スペース2つ(2Byte)固定。
8	ディレクトリ・マップ			
	データフィールド長領域の長さ	数字	1	“4”固定。
	先頭文字位置領域の長さ	数字	1	“5”固定。
	未定義	英字	2	半角スペース2つ(2Byte)固定。
ディレクトリ部				可変長。No.1~3 のディレクトリの集合より構成される。(12×n Byte) n: データフィールド数
1	フィールド識別子	数字	3	フィールドを識別するための3桁の数字(タグ)。(※2) データフィールドに値のないタグは省略。

No.	構成要素			特記事項等
	名称	形式	Byte数	
2	フィールド長	数字	4	データフィールドの長さ (バイト数) を4桁の10進数で表示 (右詰)。 4桁に満たない場合「0」でパディング。“0009” フィールドの長さには指示子、サブフィールド開始文字、サブフィールド識別文字、及びフィールド区分文字も含む。
3	フィールドの先頭位置	数字	5	当該フィールドの先頭文字の位置をデータフィールド群の先頭 (データのベースアドレス) から相対バイト数で示す。 (なお、データフィールド群の先頭を0とする。) 5桁の10進数で表示 (右詰)。 5桁に満たない場合「0」でパディング。“00015”
フィールド区分文字				ディレクトリ部の最後に挿入する。
1	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1E (Hex) 固定。
データフィールド群				可変長。(*3) (*4) ディレクトリにて指定された位置、長さのデータフィールドの集合により構成される。 前述した「フィールド長」は、以下の No.1~5 の長さの合計値を表す。 データのないデータフィールドは省略。 サブフィールド識別子を持たないフィールド 001 及び 005 は、以下の No.1~3 の項目を省略。 作成対象となるデータ及びタグについては (*2) を参照。
1	指示子 (インデキータ)	数字/英字	0,2	存在しない場合は省略。
2	サブフィールド開始文字	Binary	1	サブフィールド識別子の最初の文字。1F (Hex) 固定。
3	サブフィールド識別文字	数字/英字	1	サブフィールドを識別するための英小文字または数字1字。 (*2)
4	データ	数字/英字/漢字	可変長	データフィールドの値を表示。(*1)
5	フィールド区分文字	Binary	1	フィールド区分文字。1E (Hex) 固定。
レコード区分文字				各レコードの最後に挿入する。
1	レコード区分文字	Binary	1	レコード区分文字。1D (Hex) 固定。

(*1) データにおける文字コード体系は、以下のとおりとする。

文字のモード	文字コード	使用箇所
1 バイト (英数字) 文字モード	ISO 646, IRV (basic Latin set)	<ul style="list-style-type: none"> 識別ブロック(フィールド識別子 001、005) コード化情報ブロック(フィールド識別子 100-152) 出典情報ブロックのうちフィールド識別子 801 国内使用ブロックのうちフィールド識別子 911 サブフィールド\$3、\$5、\$6、\$7のデータ \$7でbaが指定されているフィールド
2 バイト (漢字) 文字モード	JIS X 0208-1990	<ul style="list-style-type: none"> 上記以外

(*2) 以下にタグ一覧（データ要素一覧）を記載する。

ブロック	フィールド識別子	フィールド名	指示子1	指示子2	サブフィールド識別文字	サブフィールド名	必須	繰り返し	備考	サンプル			
識別ブロック	001	レコード識別番号					◎	×	典拠ID (8Byte)	12345678			
	005	レコード更新情報						×	YYYYMMDDh hmmss.0 (16Byte)	20001221145200.0			
コード化情報ブロック	100	一般的処理データ					◎	×					
			△				○	×			△		
				△				○	×			△	
					a		一般的処理データ		○	×	固定長23Byte		
							ファイルに入れた日付				YYYYMMDD (8Byte)	19971219	
							典拠標目の状態コード				a : 確立 c : 暫定 x : 参照 (1Byte)	a	
							目録用言語コード				jpn : 日本語 (3Byte)	jpn	
							翻字コード				c : ISO翻字表/ その他の翻字 表両方使用 (1Byte)	c	
							文字セット				01 : ISO 646 (基本ラテン文字セット) 12 : JIS X 0208 (4Byte)	0112	
							追加文字セット				空白(4Byte)	△△△△	
							目録用文字				da : 日本語一文字種を特定せず (2Byte)	da	
			150	名称に関するコード化データ・フィールド							×		
					△				○	×			△
	△						○	×			△		
		a				名称に関する処理データ		○	×	a : 国レベル c : 県レベル d : 市町村レベル h : 地方自治体ではあるが確認できないレベル (1Byte)	a		
152	目録規則							×					
		△				○	×			△			
			△				○	×			△		
				a		目録規則		○	×		NCRT		
				b		件名システム			×		NDLSH		

ブ ロ ッ ク	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル	
標 目 ブ ロ ッ ク	200	標目－個人名					△	×	200、210、220、230、または250のいずれかが必須。 文字種の違いによる繰り返しは可能。(*3)		
						△	○	×		△	
						人名形式インディケータ	○	×	0: 姓名の区切りのない人名 1: 姓のもとに記入される人名	1	
						a	姓または姓名の区切りのない人名	○	×		大島
						b	名		×		清
						c	その他の付記事項		○		農業経済
						d	世系		×		
						f	生没年		×		1913-1984
						g	イニシャル展開形		×		
						210	210	標目－団体名			
会議インディケータ	○	×	0: 団体名 1: 会議名	0							
団体名形式インディケータ	○	×	0: 転置形の名称 1: 地域もしくは法管轄地域のもとに記入される名称 2: 直接形で記入される名称	2							
a	団体名	○	×		埼玉県						
c	付記事項		×	UNIMARCフォーマットでは繰り返し可能。							
x	細目		○		教育						
220	220	標目－家族名					△	×	200、210、220、230、または250のいずれかが必須。 文字種の違いによる繰り返しは可能。(*3)	△	
						△	○	×		△	
						△	○	×		△	
						a	家族名	○	×		小笠原 (氏)
x	細目		○								

ブ ロ ック	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル			
	230	標目－統一タイトル	△	△			△	×	200、210、220、230、または250のいずれかが必須。文字種の違いによる繰り返しは可能。(*3)	△			
							△	×		△			
							△	×		△			
							a	×	タイトル	○	×		源氏物語
							n	×	付記事項		×	UNIMARCフォーマットでは繰り返し可能。	
x	○	細目		○		書目							
	250	標目－普通件名	△	△			△	×	200、210、220、230、または250のいずれかが必須。文字種の違いによる繰り返しは可能。(*3)	△			
							△	×		△			
							△	×		△			
							a	×	普通件名	○	×		図書館
							x	○	細目		○		統計
注 記 ブ ロ ック	300	名称に関する注記						○					
								○	×	0：個人名、団体名、家族名もしくはタイトルの標目の用法に関する注記 1：普通件名標目の用法に関する注記	1		
							△	×		△			
		a	×	注記	○	×		→：各国議会名ならびに地方・都市議会名の件名をも見よ（例：国会；イギリス議会；東京都議会）					
	320	一般的説明参照注記	△	△				×	レコードラベルの典拠・参照レコード識別コードが、“z”（一般的説明参照記入レコード）の場合のみ、存在可。				
							△	×		△			
							△	×		△			
							a	○	○	一般的説明参照注記	○	○	

ブ ロ ック	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル
	330	一般的スコープノート				注記の種別	○	×	0: 個人名、団体名、家族名もしくはタイトルの標目の用法に関する注記 1: 普通件名標目の用法に関する注記	1
						△	○	×		△
						a	○	×		ここには、教育統計の理論に関するものを収め、統計そのものは、教育統計に収める
「を見よ」参照ブロック	400	「を見よ」参照指示ー個人名				△	○	×		△
						人名形式インディケータ	○	×	0: 姓名の区切りのない人名 1: 姓のもとに記入される人名	1
						5		×	a: 以前の標目 b: 以後の標目	
						a	○	×		J o h a n n e s □ P a u l u s
						b		×		
						c		○		教皇
						d		×		2世
						f		×		
						g		×		
							410	「を見よ」参照指示ー団体名		
団体名形式インディケータ	○	×	0: 転置形の名称 1: 地域もしくは法管轄地域のもとに記入される名称 2: 直接形で記入される名称	2						
5		×	a: 以前の標目 b: 以後の標目							
a	○	×		NHK						
c		×	UNIMARCフォーマットでは繰り返し可能。							
x		○								

ブ ロ ッ ク	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル							
	420	「を見よ」参照指示ー家族名						○									
						△		○	×		△						
						△		○	×		△						
						5	名称の種別		×	a : 以前の標目 b : 以後の標目							
						a	家族名	○	×		後北条氏						
						x	細目		○								
						430	「を見よ」参照指示ー統一タイトル							○	×		△
												△		○	×		△
												5	名称の種別		×	a : 以前の標目 b : 以後の標目	
												a	タイトル	○	×		千一夜物語
n	付記事項		×	UNIMARC フォ ーマットでは繰 り返し可能。													
x	細目		○														
450	「を見よ」参照指示ー普通件名							○	×		△						
						△		○	×		△						
						5	名称の種別		×	a : 以前の標目 b : 以後の標目	a						
						a	普通件名	○	×		籠球						
						x	細目		○								
						「をも見よ」参照ブロック	500	「をも見よ」参照指示ー個人名						○	×		△
△		○	×	0 : 姓名の区切り のない人名 1 : 姓のもとに記 入される人名	1												
3	参照先レコード識別 番号	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは必 須ではない。	00623711												
5	名称の種別		×														
a	姓または姓名の区切 りのない人名	○	×		市川												
b	名		×		団十郎												
c	その他の付記事項		○														
d	世系		×		1 1 世												
f	生没年		×		1 9 1 0 - 1 9 6 5												
g	イニシャル展開形		×														

ブ ロ ッ ク	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル						
510		「をも見よ」参照指示-団体名				会議インディケータ	○	×	0: 団体名 1: 会議名	0						
						団体名形式インディケータ	○	×	0: 転置形の名称 1: 地域もしくは 法管轄地域の もとに記入さ れる名称 2: 直接形で記入 される名称	2						
						3 参照先レコード識別 番号	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは必 須ではない。	00263542						
						5 名称の種別		×								
						a 団体名	○	×		労働省婦人局						
						c 付記事項		×	UNIMARC フォ ーマットでは繰 り返し可能。							
						x 細目		○								
						520		「をも見よ」参照指示-家族名				△	○	×		
												△	○	×		
												3 参照先レコード識別 番号	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは必 須ではない。	
												5 名称の種別		×		
												a 家族名	○	×		
x 細目		○														
530		「をも見よ」参照指示-統一タイトル				△	○	×								
						△	○	×								
						3 参照先レコード識別 番号	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは必 須ではない。							
						5 名称の種別		×								
						a タイトル	○	×								
						n 付記事項		×	UNIMARC フォ ーマットでは繰 り返し可能。							
x 細目		○														

ブ ロ ッ ク	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル	
	550	「をも見よ」参照指示ー普通件名							○		
						△		○	×		△
						△		○	×		△
						3	参照先レコード識別 番号	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは必 須ではない。	00573385
						5	名称の種別		×	g: 上位語 h: 下位語 z: その他	z
						a	普通件名	○	×		図書館
				x	細目		○				
分 類 番 号 ブ ロ ッ ク	686	分類記号ーNDLC・NDC							○		
						△		○	×		△
						△		○	×		△
						a	分類記号	○	○		NA 8
				2	分類表		×		NDLC		
出 典 情 報 ブ ロ ッ ク	801	レコード作成機関					◎	×	UNIMARC フォ ーマットでは繰 り返し可能。		
						△		○	×		△
							機関の役割	○	×	0: レコード作成 機関 1: 機械可読形 の変換機関 2: レコード内 容・構造修正 機関 3: レコード刊行 機関	0
						a	国名コード	○	×		JP
						b	機関名	○	×		National△Diet△ Library,△JAPAN
				c	最新処理日付	○	×	YYYYMMDD	20001212		
	810	出典データ							○		
						△		○	×		△
						△		○	×		△
				a	出典(タイトルある いは根拠)	○	×		根拠: 初出資料		
	830	目録作成者一般注記							○		
						△		○	×		△
						△		○	×		△
				a	目録作成者一般注記	○	×	UNIMARC フォ ーマットでは繰 り返し可能。	画家		

ブ ロ ック	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル		
	835	標目削除に関する注記						○	レコードラベルのレコード状態が“d”（削除レコード）の場合のみ存在可能。			
							△	○	×		△	
							△	○	×		△	
							a	注記	○	×	UNIMARCフォーマットでは繰り返し可能。	標目削除(19940628)□00028189と重複
国内 使用 ブ ロ ック	900	件名参照－個人名						○				
							△	○	×			
							人名形式インディケータ	○	×	0: 姓名の区切りのない人名 1: 姓のもとに記入される人名		
							5	名称の種別		×		
							a	姓または姓名の区切りのない人名	○	×		
							b	名		×		
							c	その他の付記事項		○		
							d	世系		×		
							f	生没年		×		
							g	イニシャル展開形		×		
910	件名参照－団体名							○				
							会議インディケータ	○	×	0: 団体名 1: 会議名		
							団体名形式インディケータ	○	×	0: 転置形の名称 1: 地域もしくは法管轄地域のもとに記入される名称 2: 直接形で記入される名称		
							5	名称の種別		×		
							a	団体名	○	×		
							c	付記事項		×		
x	細目		○									

ブ ロ ッ ク	フィールド 識別子	フィールド名	指 示 子 1	指 示 子 2	サブフ ィール ド 識別文 字	サブフィールド名	必 須	繰 り 返 し	備考	サンプル			
911	標目区分						◎	×					
			△				○	×		△			
				△				○	×		△		
					a	標目区分		○	×	p: 個人名 g: 団体名 f: 家族名 u: 統一タイトル t: 普通件名 (1Byte)	p		
					b	著者標目使用コード		○	×	a: 著者標目として使用 x: 著者標目に使用せず (1Byte)	a		
					c	件名標目使用コード		○	×	s: 件名標目に使用 n: 件名標目に使用し、かつ NDLSHに収録 x: 件名標目に使用せず (1Byte)	n		
		915	官庁コード							×			
					△				○	×		△	
						△				○	×		△
							a	旧官庁コード			○		A 2 0
			c	新官庁コード			○		A A 0				
			d	都道府県コード			○		0 1 0				
936	標目訂正に関する注記							○					
			△				○	×		△			
				△				○	×		△		
			a	注記		○	×		標目訂正□ソウダ →ハヤタ(1994 0617)				
980	文字に関する注記							○					
			△				○	×		△			
				△				○	×		△		
			a	注記		○	×		名の1字目はD:6 04の置き換え				
981	外字に関する注記							○					
			△				○	×		△			
				△				○	×		△		
					a	外字フィールド		○	×		2 0 0 a		
			c	追加文字コード		○	○		3 0 A 1				

【必須】 ◎: タグレベルの必須、 ○: 必須(タグが存在した場合)、 △: 条件付き必須、 空白: 任意

【繰り返し】 ○: 繰り返し可、 ×: 繰り返し不可

【サンプル欄の値】 △: 半角スペース、 □: 全角スペース

(*3) UNIMARC フォーマットでは異なる文字種を扱うために、各フィールド内で定義をしたサブフィールド識別文字の他に、“6”、“7”という 2 つのサブフィールド識別文字を使用する。

\$6： フィールド間リンクデータ

名称に対するよみ（カナ形）や、ローマ字形等、同一内容を異なる文字種で表す場合、同一内容であることを表すために用いるサブフィールド識別子であり、3Byte の文字を収録する。3Byte の定義は以下の通りである。

- － 1Byte 目は、UNIMARC のフォーマット規定ではデータ間の関係を表しており、以下の 2 つが定義されているが、当フォーマットでは、“a”を使用する。

“a”： 同一内容の文字種違いの関係
 “z”： その他

- － 2～3Byte 目は、同一数字を持つデータの内容が同じであることを示している。当フォーマットでは 1 フィールドに対して同一内容で異なる文字種の組に対して“01”から加算して、収録することとする。

\$7： 文字種

フィールド内で使用する文字種を指定するために用いるサブフィールド識別子である。（ただし、\$7 以降に出現するデータをその対象とする。）\$7 の後に下表の文字種識別文字を収録する。

（ただし、フィールド 100\$a 一般的処理データの「目録用文字」で定義した文字種と同一である場合、\$7 は省略する。）

各文字種識別文字

文字種識別文字	文字種名	バイト数 [Byte]	構成要素
ba	ラテン文字	1	英数字、記号
da	日本語－文字種を特定せず	2	全て
dc	日本語－カナ	2	カタカナ（英数字、記号も混じる）

当フォーマットでは、フィールド 100\$a 一般的処理データの「目録用文字」を“da”（日本語－文字種を特定せず）で固定している。そのため、\$7 で使用する文字種は、“dc”（日本語－カナ）または“ba”（ラテン文字）となる。

サブフィールド\$6、\$7 は\$a の直前に収録し、共に使用する場合は\$6、\$7 の順に収録する。当フォーマットで\$6、\$7 を収録する可能性のあるフィールドは、2xx、4xx、5xx、900、910 である。

【例】

100 △△\$a19991124ajpnc0112△△△△da
200 △1\$6a01\$a 宮沢\$b 賢治
200 △1\$6a01\$7dc\$a ミヤザワ, \$b ケンジ
200 △1\$6a01\$7ba\$aMiyazawa,\$bKenzi
400 △1\$6a01\$a みやざわ\$b けんじ
400 △1\$6a01\$7dc\$a ミヤザワ, \$b ケンジ
400 △1\$6a01\$7ba\$aMiyazawa,\$bKenzi
400 △1\$6a02\$a 宮澤\$b 賢治
400 △1\$6a02\$7dc\$a ミヤザワ, \$b ケンジ
400 △1\$6a02\$7ba\$aMiyazawa,\$bKenzi

(上記例において”△”は半角スペースを表している。)

(*4) UNIMARC フォーマットではサブフィールドの出現順序は、必ずしもタグ一覧（データ要素一覧）に記載されている通りの順序ではない。

UNIMARCフォーマットにおいて、サブフィールドの出現順序についての規定はないため、若干の注意が必要になる場合がある。当フォーマットでは特にフィールド200、400、500、900においてサブフィールド\$cやサブフィールド\$gの出現順序がタグ一覧（データ要素一覧）の記載順序と異なる。（ただし、UNIMARCフォーマットの制御サブフィールド\$3、\$5、\$6、\$7等は、フィールドの先頭において使用することが規定されている。当フォーマットにおいては、\$3、\$5、\$6、\$7の順で現れる。）

【例】

200 △1\$6a01\$a 大島\$b 清\$f 1 9 1 3 - 1 9 8 4 \$c 農業経済